

# くにみ 議会だより

No.188

3月議会号



## 元気にはばたけ、1年生

4月6日、国見小学校に新1年生40名が入学しました。コロナに負けず、楽しい小学校生活を送ってほしいです。

### 3月定例会

#### 新型コロナワクチン接種事業費を計上

(令和3年度当初予算) P2

職員定数条例などを審議(条例改正) P6

林道貝田線工事費などを増額(令和2年度補正予算) P8

一般質問(道の駅国見の今後についてなど7人が登壇) P11

緊急質問(福島県沖地震について) P19

# 一般会計 53.9 億円

## ワクチン 接種事業費を計上

3月定例会は、3月4日から19日まで16日間の会期で開かれました。  
 今定例会には、令和3年度当初予算や、条例制定、令和2年度補正予算など、51議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

### 令和3年度一般会計当初予算

### 新たにコロナワクチン接種費、 すくすくももさぼ祝金を計上

令和3年度の当初予算は53億9000万円で、前年度に比べ2億7000万円（4.8%）減となり、全員賛成で可決しました。

令和3年度は第6次国見町総合計画の初年度になります。基本理念として「命を

大切に、誰もが幸せに暮らせる国見町」を掲げ、「6つのまちづくり」を柱に、新型コロナウイルスワクチン接種、新産業創造プロジェクト、すくすくももさぼ祝金（出生祝金）事業などに取り組みます。

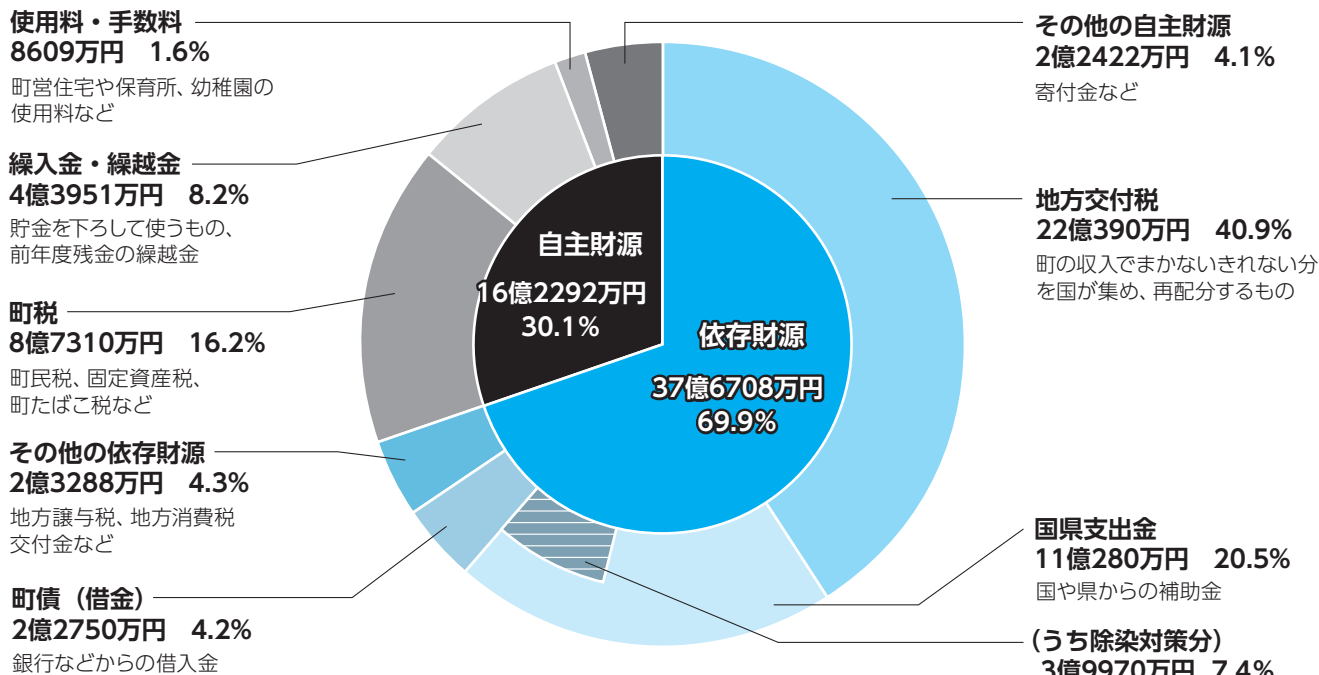
### 「健やかに暮らせるまちづくり

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 5416万円
- 減塩対策など健康づくり事業 477万円
- くくみささえ愛カフェ事業 20万円

### 「安全・安心な優しいまちづくり

- 除染対策事業 3億9970万円
- ふくしま森林再生事業 7689万円
- 道路ストック橋梁点検事業 7070万円

## 歳入 53億9000万円





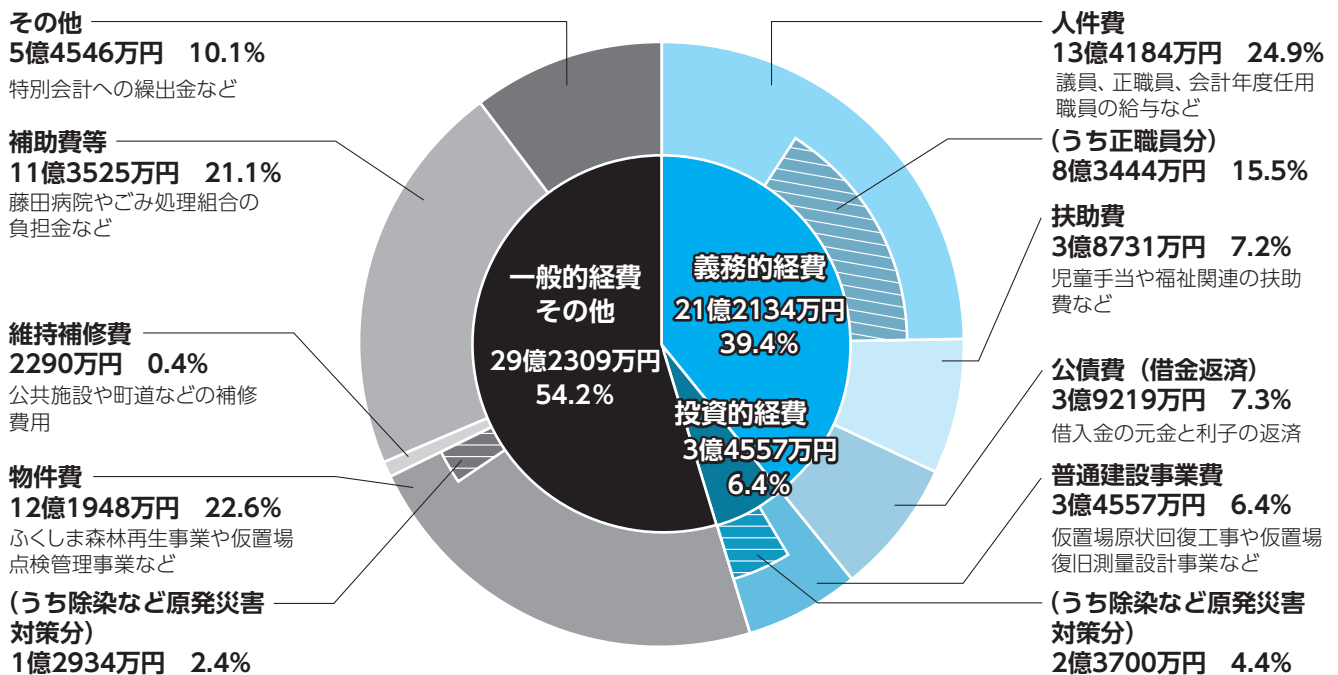


1日713食を提供する給食センター

# 令和3年度 新型コロナ

事業名	金額 (万円)
● 防災・ハザードマップの作成	100万円
● 消防団運営事業	2249万円
● 防災訓練・キッズ防災教室	24万円
<b>未来につながるまちづくり</b>	
● すくすくももさぼ祝金	300万円
● 幼小中給食費無償化事業	3172万円
● 地域学校協働本部事業 (公営塾)	500万円
● GIGAスクール推進事業	976万円
● 歴史公園 (あつかし千年公園) 維持管理事業	519万円
● 東京オリピック・パラリンピック関連事業	448万円
● 子ども読書活動推進事業	95万円
<b>恵まれた資源を活かしたまちづくり</b>	
● 営農再開支援事業 (果樹改植等)	5320万円
● 新規就農者支援事業	220万円
● 農商工連携事業	10万円
● くみにみ農業ビジネス訓練所運営事業	1919万円
● 新産業創造プロジェクト事業	4000万円
<b>相互理解と共感のあるまちづくり</b>	
● ふるさと納税事業	1億965万円
● 広報広聴事業 (タウンミーティング等)	592万円
<b>町として生きるまちづくり</b>	
● 地域おこし協力隊事業	1646万円
● 地域プロモーション事業 (移住・定住)	350万円
● 義経まつり事業	920万円

## 歳出 53億9000万円



# 当初予算の主な質疑

令和3年度  
一般会計予算

歳入

歳出

## 予算編成の根拠は

**問**

(蒲倉 孝議員)

予算編成は前年度の最終補正予算を反映させたいと考えているかがか。

**総務課長** 国、県の状況、町で、次年度の予算編成方針に基づいて作成している。前年度の補正金額等の資料は提供可能である。

## ふるさと納税の 使い道は

**問**

(山崎健吉議員)

ふるさと納税6800万円の使い道は何か。

**総務課長** 寄付者の意向は確認しているが、「町長お任せ」の方が多く。町としては、ふるさと納税の振興として主にまちづくりの事業に充てている。返礼品は桃が人気である。

## 新産業創造 プロジェクトとは

**問**

(松浦常雄議員)

新産業創造プロジェクト委託料4000万円の内容を伺う。

**企画情報課長**

地方創生事業の一つで、官民

一体となって防災を基軸とした新産業を創出するための取り組みである。企業版ふるさと納税を活用する。

## ワクチンの 接種場所は

**問**

(小林聖治議員)

新型コロナウイルスの接種場所はどこになるのか。

**保健福祉課長** 桑折町、国見町各1カ所の予定で、国見町では利便性などを考えて観月台文化センターで検討している。

## 多面的機能交付金 の組織広域化とは

**問**

(村上 一議員)

多面的機能交付金について、広域化を図ることだが、内容を伺う。

**産業振興課長** 活動組織の広域化により、補助金の増額分を活用し、事務を委託して既存組織の負担軽減を図る。また、事業費の重点配分により水路等

### 令和3年度各会計当初予算

会計名	令和3年度 当初予算	前年度対比		
		増減額	増減率	
一般会計	53億9000万円	△2億7000万円	△4.8%	
特別会計	国民健康保険	10億5052万円	△1010万円	△1.0%
	介護保険	14億7330万円	8585万円	6.2%
	公共下水道事業	2億6298万円	1428万円	5.7%
	後期高齢者医療	1億3686万円	△610万円	△4.3%
	土地開発事業	0.4万円	△3409.6万円	△100.0%
	渇水対策施設	940万円	△63万円	△6.3%
	入山財産区	19万円	0万円	0.0%
	大木戸財産区	16万円	0万円	0.0%

### 水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億5339万円	2億5572万円
資本的収支	4784万円	9430万円

※資本的収支の差は内部留保資金で補います。

## 東京国見会の 今後は

**問**

(松浦常雄議員)

東京国見会88万円とあるが、運営は今までと

の維持経費も確保できる。補助金が減額することはない。  
**企画情報課長** これまでのイ合いではなく、きちんとした組織づくりをする。国見町出身者を母体とした会を作りたい。

## 令和3年度 町長施政方針 (要旨)

### 【基本理念】

「命を大切に、誰もが幸せに暮らせる国見町」

### 【まちづくりの6つの目標】

1. 健康と医療の連携強化。健やかに暮らせる国見町
  - 公立藤田総合病院の維持継続と役割強化、各種健診費用の一部負担額の軽減などに取り組む。
2. 命を守る。安全・安心、優しい国見町
  - 防災意識の一層の向上、新型コロナワクチン接種、道路や水路の改良などに取り組む。
3. 子育て、人づくり、教育環境の再構築。未来へつながる国見町
  - 学校給食の完全無償化をはじめ、公営学習塾や認定こども園の開設、いじめに遭っている子どもや発達障害の子どもと保護者への支援などに取り組む。
4. 恵まれた資源の再確認。そして活かしきる国見町
  - 関係機関との連携を強化し、くにも農業ビジネス訓練所の運営見直しを図り、農業後継者の育成に取り組む。また、町加工施設を活用し、企業と大学と協同しながら6次化事業の支援などに取り組む。
5. 町民・町・議会の新しい連携。相互理解と共感の国見町
  - 町民・町・議会の3者が自由に参加し、直接対話するタウンミーティングを開催する。
6. 未来への持続。町として生きる国見町
  - 空き家を活用し、子育て世代や農業を志す若い世代の移住を促進する施策の構築や、鳥獣被害の解消に向けた抜本的な対策を研究し実践する。また、国見版女性会議を立ち上げ、町施策への女性の参画を進める。

## 公営塾の内容は

**問**

(渡辺勝弘議員)  
新規事業の公営塾について、内容を伺う。

**次長** 町が運営する中学生を対象とした学習塾である。地域おこし協力隊や民間塾の実績がある先生が講師を務める。場所は藤田駅前の「アカリ」で実施する。

## 給食費無償化の

理由は

**問**

(八島博正議員)  
給食費無償化はす

ばらしいと思うが、新入学祝い記念品はなくなっている。給食費を無償化した理由は。

**町長** 子育て世代の方から給食費無償化の要望をいただいたこともあった。新入学記念祝い品も含

めて、令和3年度は色々な方から意見をいただく機会を設けて、実際に何が必要か検討し、子育て施策を充実させたい。

町民・町・議会の3者が自由に参加し、直接対話するタウンミーティングを開催する。

## 町の財政が逼迫するのではないか

**問**

(佐藤定男議員)

給食費の無償化により、減収分約3000万円を一般財源でカバーしなければならぬ。今後継続

していく中で財政が逼迫していくのではないかと懸念されるがいかがか。

**町長**

補助金の有無ではなく、ふるさと納税を有効活用するなど工夫して、必要なところに支出したい。

## 成人式は中止のままか

**問**

(村上 一議員)

令和3年の成人式は新型コロナウイルスの影響で中止となり成人祝定額給付金として5万円を支給した。式典はもうやらないのか。

**生涯学習課長**

式典はやむを得ず中止とし給付金を支給した。ただ、一生に一度のことなので何らかの形で令和3年中に集いの場を実施したい。

## 超過勤務の減少策は

**問**

(八島博正議員)

超過勤務手当の予算は約4300万円であ

り、人件費削減のためにも予算内で執行してほしいが、どのような考えか。

**町長**

予算の範囲内にする努力はしたいが、近年、突発的な事象が起きており超過勤務を余儀なくされている面もある。職員のアンケートから大変な思いをしている職員が多くいると感じた。職員が幸せ感を持って働き、町民へ還元できるように職場づくりをしたい。

## 道の駅国見の今後は

**問**

(山崎健吉議員)

道の駅国見への町職員の派遣が3月末で終了することだが、道の駅はひとり立ちしたと考えているのか。

**まちづくり交流課長**

開業3年で2年連続黒字を達成している。会社の収益構造などの経営基盤は一定程度確立されてきている。



## 条例改正

# 一部の課の名称を変更

国見町課設置条例の一部を改正する条例

(要旨) 組織体制の見直しにより、課の設置を改正する。

- 企画情報課→企画調整課
- 税務住民課→税務課
- 環境防災課→住民防災課
- 保健福祉課→ほけん課・福祉課(2課に分課)
- まちづくり交流課を廃止

(賛成多数で可決)

## まちづくり交流課を残すべきでは

### 問

(六戸武志議員)

町の独自性を考え、まちづくり交流課を残し、事務の効率化、IT化を進めるため企画情報課を残すべきと思うがどうか。

国見町職員定数条例の一部を改正する条例

(要旨) 組織体制の見直し等により、職員の定数を改正する。

- 町長部局 80人→82人
- 農業委員会事務局 2人→3人
- 教育委員会事務局職員7人、町立学校その他の教育機関の事務局職員22人の合計29人→36人

(賛成多数で可決)

## 住民防災課、税務課に変更する理由は

### 問

(渡辺勝弘議員)

環境防災課を住民防災課、税務住民課を税務課にする理由は。

総務課長 環境防災課の中の原発災害対策室の業務が一定程度進み室廃止となり、1係となる。課のバランスを考え、税務住民課の戸籍係と環境防災係を1つの課にし、住民防災課とするものである。課の業務量、職員数等の平準化を図りたい。

### 問

(山崎健吉議員)

教育委員会部局の定数が7人増と突出しているが、なぜか。

### 教育長

現在の保育所と幼稚園について、保育所は正規職員8人で会計年度任用職員が20人、幼稚園は正規職員8人で会計年度任用職員が12人である。保育所では0歳児から預ける方が増え、このままだと待機児童が発生するところまできている。幼児教育の充実のため、正規

### 町債(借金)の残高

会計名	令和2年度末 借金残高	令和3年度末 見込借金残高
一般会計	61億1578万円	59億8745万円

### 基金(貯金)の残高

会計名	令和2年度末 貯金残高	令和3年度末 見込貯金残高
財政調整基金	7億9490万円	5億2021万円
復興基金	1億5484万円	1億2984万円
ふるさと振興基金	2億1280万円	1億8814万円
その他の基金 (一般会計)	4億9140万円	4億8430万円
基金総額 (一般会計)	16億5394万円	13億2249万円

職員の増加が必要だ。

### 問

(六戸武志議員)

正規職員を増やせば、町の経費が増える。経費節減のため、会計年度任用職員数で対応すべきと思うがどうか。

### 町長

町民のために、教育や福祉の充実にはマンパワーが必要である。

教育部局の人数が増えれば、幼稚園や保育所の教諭が、現場だけでなく教育委員会の事務局と行き来も可能になる。

※そのほか、条例改正9議案が原案どおり全員賛成で可決された。

## 討論

職員定数条例の一部を改正する条例

### 反対討論

〔宍戸武志議員〕

残業問題は人を増やしたから解決するものではない。組織の効率化や合理化そして職場内の凸凹を調整してやるべきであり、定数増には反対する。

### 賛成討論

〔浅野富男議員〕

働き方改革と言われる中で、過剰労働を抑える仕組みが必要だ。定数増を図り、雇用を増やすことは理にかなっていないので賛成する。

〔松浦常雄議員〕

教育委員会部局の人員増でもある。保育所、幼稚園には正規職員以上の会計年度任用職員が配置されている。幼児教育の重要性からも正規職員を増やすことに賛成する。

## 議案審議結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議案等	議員名	議決結果	蒲倉孝	八巻喜治郎	宍戸武志	山崎健吉	小林聖治	村上一	佐藤定男	渡辺勝弘	松浦常雄	浅野富男	八島博正
議案第7号 国見町課設置条例の一部を改正する条例		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 国見町職員定数条例の一部を改正する条例		可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 国見町介護保険条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

○：賛成 ●：反対 ◻：討論者  
※議長（東海林一樹）は採決に加わらない。

# 人

# 事

### 副町長の選任に同意

国見町副町長に、前まちづくり交流課長の佐藤克成氏（58歳）を選任することに同意しました。



### 教育長の任命に同意

国見町教育委員会教育長に、前保健福祉課長の菊地弘美氏（59歳）を任命することに同意しました。



### 国見町固定資産評価審査委員の選任に同意

令和3年3月31日任期満了により、奥山宏氏（藤田）の再任に同意しました。

### 「私もひと言」原稿を募集

議会だよりにみなさんからの意見や要望、議会を傍聴した感想などを掲載します。日頃から思っていること何でも結構です。字数は600字(400字詰め原稿用紙1枚半)程度です。どうぞお寄せください。

広報常任委員長（事務局TEL 585-3295）

# 林道貝田線災害復旧 事業費などを増額

令和2年度補正予算のうち、一般会計(第12号)は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億1670万円を増額し、予算総額78億4687万円とすることを全員賛成で可決しました。

主な支出は、林道貝田線災害復旧事業、国見ニュータウン区画購入事業、給食センター空調設備更新事業などです。

## 質疑

**区画購入後の  
活用方法は**

**問** (蒲倉 孝議員)  
国見ニュータウン

区画購入事業3040万円について、未分譲2区画とのことだが、町で購入後はどうのように活用するのか。

**企画情報課長** 基本的に住宅としての活用となるが、PFIや民間主導型でサブリースする方向で、移住・定住での活用など事業化したいと考えている。

※PFIとは  
公共事業等の建設・維持管理運営等を民間の資金、経営能力及び技術力を活用して行う手法。

**防災設備事業の  
減額理由は**

**問** (渡辺勝弘議員)  
消防費の防災情報

通信設備整備事業が2400万円減額となっているが、なぜか。

**環境防長** 移動系の防災行政無線工事に

ついて、高機能型のものではなく、単機能型のシステムとしたため減額となった。

## 令和2年度一般会計 補正予算(第12号)のおもな内容

### 【主な事業】

・国見ニュータウン区画購入事業	3040万円
・観月台文化センター改修工事	850万円
・林道貝田線災害復旧工事費	5000万円
・町道4078号線改良工事	1527万円
・除雪業務	850万円
・県北中学校自動火災報知設備更新	935万円
・給食センター空調設備更新	1235万円

### 【主な財源】

・国県補助金	△8943万円
・地方債	△1420万円
・その他(寄付金等)	1678万円
・一般財源	2億355万円

### 【予算に計上済みだが、令和3年度に繰り越しが決定した主な事業】

◎小中学校GIGAスクール構築業務費	4774万円
◎国見第4地区ため池耐震性調査事業	4150万円
◎滑川筋河川改修事業	5436万円

**問** (渡辺勝弘議員)  
消防団でも使用するとのことだが、団長、副団長は防災行政無線を持っていない。連絡手段はどのようになっているのか。

**環境防長** 団長、副団長に常駐し団員の掌握と指示が任務である。役場以外に本部を置く際に可搬局を使用し統制をとっていた。

**文化センターの施設  
改修工事の内容は**

**問** (浅野富男議員)  
文化センターの施設改修工事850万円の内容を伺う。

**生涯学習課長** 4月1日より、教育委員会事務局が全て観月台文化センターに移動するため改修するものである。





大規模な土砂崩れがあった林道貝田線法面復旧工事

## 林道災害復旧工事費 増額の理由は

### 問

(渡辺勝弘議員)

林道災害復旧工事費5000万円について、増額理由を伺う。

### 産業振興課長

台風19号による土砂崩れの被害があった林道貝田線の復旧工事について、当初の災害査定時には崩落した土砂で見えなかった所が、こ

での工事で明らかに、防護網の設置工事等を新たに実施するためである。

### 臨時議会

3月29日、第3回臨時議会が開催されました。

令和2年3月に議決を受け締結した工事請負契約の変更の議案1件が提出され、原案のとおり可決されました。

### 議案

・林道貝田線法面復旧工事について、工事進捗に伴い、不可視部分が明らかにとなり追加工事が必要となったため変更する。

変更後の契約額  
2億4229万円

### 一部事務組合報告

※一部事務組合とは複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体。

### 設計業務委託を 繰り越し

伊達地方消防組合議会

2月15日に開催された第1回臨時会では、令和2年度の補正予算として、西分署庁舎改築基本設計業務委託の繰り越しにより3520万円減額することなどについて審議され、原案のとおり可決されました。

(報告者 渡辺勝弘)

### 新型コロナウイルスに伴う 特殊勤務手当の 条例改正

3月24日に開催された第2回定例会では、特殊勤務手当の条例改正や、火災予

防条例改正、令和2年度補正予算、令和3年度当初予算の議案4件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

(報告者 小林聖治)

### 維持管理費用など の当初予算を可決

伊達地方衛生処理  
組合議会

3月24日、第1回定例会が開催されました。提出された議案は、専決処分の承認1件、令和2年度補正予算3件、令和3年度当初予算3件で、すべて原案のとおり可決されました。

(報告者 浅野富男)

### 継続費を実績に 応じ変更

福島地方水道用水  
供給企業団議会

(自然の水を浄化し、水道水として国見町、福島市、

桑折町など3市3町に提供する事務組合)

2月19日、企業団議会定例会が開催され、令和2年度補正予算、令和3年度当初予算、条例改正についての審議が行われ、全議案が可決されました。

### 令和3年度当初予算

◆収益的収支予定額  
収入 44億1115万円  
支出 44億4050万円  
◆資本的収支予定額  
収入 834万円  
支出 18億4853万円

(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金などで補います。)

(報告者 東海林一樹)

## 町長の行政報告（抜粋）

### ■健やかに暮らせるまちづくり

#### ●からだの説明会

・1月14日から2月10日まで5回開催し、特定保健指導対象者に次年度総合検診の受診に意識を向上させ、自身の健康管理の関心を高めるために実施した。

### ■安全・安心、優しいまちづくり

#### ●新型コロナウイルス感染症対策

・県内では、医療機関等でのクラスター発生が続き、予断を許さない状況である。町は、感染拡大防止のため、注意喚起のチラシや防災行政無線による呼びかけを継続している。また、ワクチンの接種に向けて、保健福祉課内に新型コロナウイルス対策室を設置し準備を行っている。

### ■未来へつなげるまちづくり

#### ●国見の教育ビジョン策定事業

・今後10年の町の教育指針ともなる教育ビジョンの改訂について検討委員会から答申があった。新たな時代に対応し、生涯学習社会の一層の推進を図るとの方針が盛り込まれた。

### ■資源を活かしきるまちづくり

#### ●くみにみ農業ビジネス訓練所運営事業

・JAふくしま未来から専門職員の派遣など、連携と協力を得ることとなった。また、基本協定を締結している福島大学農学類へ、連携と協力の具体化について申し入れを行う。

#### ●歴史を活かしたまちづくり

・阿津賀志山防壁下二重堀地区歴史公園整備事業では、ガイダンス施設やトイレなどの建築工事を進めている。また、歴史公園の愛称は「あつかし千年公園」に決定した。

### ■相互理解と共感のまちづくり

#### ●交流連携事業

・防災スペースフードプロジェクトとして、幼稚園、小中学校に防災備蓄ゼリーを配付し、防災を学ぶきっかけとした。

### ■町として生きるまちづくり

#### ●総合計画推進事業

・令和3年度から10年間の町の基本指針となる第6次総合計画が答申され、本定例会に議案として提出している。

## みなさんからの 陳情

3月定例会では陳情2件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
国に対し、「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書」の提出を求める陳情書	日本国民救援会伊達支部 支部長 二瓶 勇雄	採択
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採択

※議長は採決に参加しない。

委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

## 意見書

3月定例会では意見書2件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

### 再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書

現行の刑事訴訟法の再審制度では、証拠開示の規定がないことや、検察の再審開始決定に対する上訴が許されていることから、再審無罪が確定するまでに長い年月を要している。誤った裁判により冤罪となった人を迅速に救済することができるよう、刑事訴訟法の改正を求めるため。

**可決**  
(賛成多数)

### 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

本県の復興促進や労働人口の流出防止、中小・地場企業の支援強化のため、最低賃金の引き上げと早期発効を求めるもの。

**可決**  
(全員賛成)

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



# 町政を問う

一般  
質問

## 3月定例会

議員	質問事項	ページ
山崎 健吉	道の駅の指定管理者の見直しは	12
	新型コロナウイルスワクチンの接種方法は	
佐藤 定男	役場の公印の保管・管理方法は	13
	朝礼・終礼を行うべきでは	
村上 一	町内の空き家の有効活用を	14
	町内会の課題をどう捉えているか	
渡辺 勝弘	プレミアム商品券事業を再度実施すべきではないか	15
	ももたん広場は継続できるのか	
穴戸 武志	町の歴史や文化を教育に取り組んでいるか	16
	健康づくりを全町民参加型にすべきでは	
	介護保険給付金の支給方法変更を	
蒲倉 孝	道の駅の誘客につながる施策は	17
	危険な交差点の信号機変更を	
浅野 富男	PCR検査の拡充を	18

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。



# Q 道の駅の指定管理者の見直しは

## A 来年度末までに事業者を選定したい



山崎健吉議員

**まちづくり  
交流課長** 整備した  
当時、運営

形態を検討した結果、町が100%出資して設立する第三セクターとして、国見まちづくり株式会社を立ち上げた経緯がある。

**問** 指定管理者の  
管理評価シート

で道の駅の評価が出ている。四ランク評価でほとんどがBランクである。誰が項目を挙げ評価しているのか。

**まちづくり  
交流課長** 基本協定  
に基づき、

事業年度終了時に町が、実施状況を確認、評価している。本来は第三者評価が望ましいが、現段階では職員が

評価している。

**問** 道の駅は来年  
3月末で指定管  
理者期間が終了する。

選考方法や出資比率を見直す予定はないか。

**町長** 令和3年度中  
に次の指定管理

者の選定の手続きを進める。外部の有識者などを交えた選定委員会を組織し、検証と効率的な指定管理者の在り方や公募・非公募等管理運営に関してふさわしい事業者を選定したい。また、出資比率については、国見まちづくり株式会社が3月末現在累積欠損を抱えており、欠損金の解消の見込みが立った段階で見直しを検討すべきと考えている。

**問** 道の駅を運営  
する上での課題

は何か。

**まちづくり  
交流課長** 施設の設  
置者として

は設置目的である農業と商業の振興、観光の拠点としての活用や交流人口の拡大が課題である。株主としては会社の経営の安定だと考える。

### 新型コロナウイルスの 接種方法は

**問** ワクチン接種  
は感染拡大を抑  
える有効な手段である  
が、全町民を対象とする  
のか。

**保健福祉  
課長** 予防接種  
法に基づき、

16歳以上で町内に居住し希望する者を対象とする。

**問** 現在はファイ  
ザー社のワクチ  
ンで1人につき2回接  
種と報道されている  
が、どのくらいの間隔

で接種するのか。

**保健福祉  
課長** 厚生労働  
省からの指

示では2回とされており、間隔は3週間程度と聞いている。

**問** 1日当たり何  
人の接種を想定  
しているのか。

**保健福祉  
課長** 1日当た  
り80～100  
人程度と見込んでい  
る。

**問** 仕事等で平日  
に行けない方や  
移動困難な方への対応  
はどうするのか。

**保健福祉  
課長** 平日が難  
しい方には、医療機関の負担も  
考慮しながら土日の対応も検討する。移動困  
難な方には巡回接種も  
検討している。

**問** 道の駅国見あ  
つかしの郷につ  
いて、国と町の維持管  
理費用の負担割合を伺  
う。

**まちづくり  
交流課長** 道の駅国  
見あつかし

の郷は、国と町が共同で設置する一体型の道の駅である。トイレと道路情報コーナーに係る電気・水道・下水道料については、使用量

に応じて国が64%、町が36%負担している。修繕等が必要な場合はそれぞれ負担する。

**問** 道の駅指定管  
理候補者選定委  
員会設置要綱による

と、所管する課長の申し出により役場内で構成するところ。設置当時は公募という考えはなかったのか。

# Q 役場の公印の保管・管理方法は

## A 公印の一部は課長以外の職員を選任し管理している

**問** 職員それぞれが職務上使用する印鑑の「使用印鑑届」はあるか。

**総務課長** 使用印鑑を届け出る規定はない。職員が自分で決めて使用している。

区別や責任の所在が不明ではないか。

**総務課長** 各職員は責任をもって押印しており特に問題はないと考えている。

**問** 届出がなければ誰が押印したかわからない。同姓の

**問** 公印の数はいくらか。また、誰がどのように管理しているのか。

**総務課長** 公印は22個あり、内8個は総務課で管理している。他の公印は各課長が保管・管理しているが一部は課長以外の職員の中から公印の取扱責任者を選任し運用している。

**問** 住民票など各種証明書を発行する際、上司の検印を受けているか。

**総務課長** 窓口での各種証明書については、迅速な対応のため基本的に上司の確認は必要としていない。

**問** 電子証明であるか、申請者は誰か、頼内容に沿った証明であるか、謄本か抄本かなど確認すべきではないか。誰も最初から間違ってもいいと思っ

**問** 公印の管理を課長以外が管理することは常識では考えられない。現状を変えるべきではないか。

**総務課長** 現状のままでも各課の公印に關しては当然課長が責任を負う。

**町長** やりとりの中で確かに見直ししなければならぬと感じた。早急に対応したい。

# 朝礼・終礼を行うべきでは

**問** 役場内で朝礼・終礼は実施しているか。

**総務課長** 基本的に各課の対応に任せている。時間的に窓口の対応などもあり一斉の実施は難しい。

**問** 職員間の情報共有、業務の適切な遂行等の観点から実施すべきと考えるがいかがか。

**総務課長** 始業時刻と窓口等の開庁時間が同時であり、来庁された方への対応を考えれば朝礼はなじまないと考える。情報共有等が必要に応じて各課などで打ち合わせを実施している。



佐藤定男議員



庁舎内の執務室のようす



# Q 町内の空き家の有効活用を

## A 関係各課で対策を進めたい



村上 一議員

**問** 空き家問題は全国的にも社会問題となっている。国見町でも同様の問題が表面化しつつある。特に、管理不十分な空き家は、防犯・安全・環境景観の保全等、町民の生活に悪影響を及ぼしている。

**建設課長** 平成26年度に、現状把握のため町内全域を対象に空き家実態調査を実施し、178戸の空き家を確認した。今年度は、従前の調査で確認した空き家の所在、外観調査に加え、建物所有者へアンケートを行い意向把握も行っている。分析し、今後の効果的な対策に活かしたい。

**問** 空き家を減少させるため取り組んでいる対策は。

**建設課長** 法律に基づき、空き家に関する条例を制定し、対策計画を策定した。令和2年には民間事業者と空き家バンクの登録等に関する連携協定を締結した。空き家のマッチングサイトと連携したところ、2件の登録と数多くの問い合わせがあった。

**問** コロナ禍でテレワークの推進など地方移住に関心を持つ人が増えており、今後その需要はさらに大きくなるのではないかと。そのような需要の受け皿として利活用の考えはないか伺う。

**町長** 利用可能な公的施設と合わせ、地域の資源として利活用可能な空き家については、所有者の意向も踏まえ関係各課と連携して、国県の助成制度なども活用しながら対策を進めたい。

の各種会議出席など、役割はますます重要となっている。

町は、なり手不足など各町内会で抱える諸問題について、把握しているのか。

**環境防災課長** 人口減少や社会構造の変化により、町内会への加入数が減少し、役員のなり手が不足していることは、町内会長連絡協議会の役員会などでも度々話し合わせ、認識している。

**環境防災課長** 町内会はなコミュニティであり、再編などの議論を町が主導することがあつてはならないと思う。町内会ごとのそれぞれの課題があることも承知している。今後、タウンミーティングなどを通じてコミュニティの在り方なども検討していきたい。

### 町内会の課題をどう捉えているか

**問** 町内会は生活環境の整備や住民福祉の向上など、地域の様々な事柄に取り組む自治組織である。

町内会長は、町の配付物や回覧、地域住民からの要望の集約、町

**問** 町内会ごと



利活用の検討を



# Q プレミアム商品券事業を再度実施すべきではないか

## A アンケート結果を検証する

**問** 町は、独自の支援策として、

県の時短営業協力金に

上乗せ支給したが、交

付対象事業者と交付対

象から外れた事業者と

の格差が大きいのでな

いか。

者への協力金という趣旨のため、ご理解いただきたい。

門家が判断した根拠などについて町が議論するのはなじまない。

**問**

今回の時短営業協力金の対象

はすべての飲食店ではないが、なぜか。

**問**

コロナ危機から、命と暮らし

を守り経済を立て直すための町独自の景気対策案はあるのか。

**まちづくり交流課長** 県と町が一体となつて実施した感染拡大防止対策に協力する事業

を

**まちづくり交流課長**

有識者が検討した内容に基づき県知事が協力要請したもので、専

門家が判断した根拠などについて町が議論するのはなじまない。

**町長**

町の商業全体を再興といつた広い視野で考えるべきものと考えている。国、

県の広域的な経済対策の状況や関係団体の意向、協議なども踏まえて、しっかりと町として対応していく。

**問**

感染防止対策を十分行いながら、プレミアム商品券

事業を再度実施すべきではないか。

**まちづくり交流課長**

今後、アンケート結果を検証し、財源確保も含め、再度実施できるか検証したい。

## ももたん広場は継続できるのか

**問**

県の復興予算が減額になったと報道されたが、ももたん広場の財源内訳と補助率を伺う。

ももたん広場は、福島県安全子ども基金や福島県被災した子ども健康・生活対策等総合支援事業補助金を活用して継続している。令和3年度も同様の財政支援を見込んでいるが、国の財源も減少し令和4年度以降は国の動向を注視する必要がある。

**問**

復興予算によって開設したももたん広場の事業継続に影響はないのか。

**幼児教育課長**

補助事業を活用しており、町単独で進めるには厳しいため、引き続き財源確保に努めていきたい。

**問**

子どもたちの安心・安全対策を講じたももたん広場を継続させるためには、利用者負担も考えるべきではないか。

子どもたちの安心・安全対策を講じたももたん広場を継続させるためには、利用者負担も考えるべきではないか。

**幼児教育課長**

設置の目的や子育て支援の観点から、町では利用者負担を考えていない。

しかし、大規模な施設改修や遊具の更新などが必要となった場合には、検討しなければならぬと考え

**問**

ももたん広場を町内外に広め、多くの人に利用していただけるようにするための方策はあるのか。

**幼児教育課長**

国見の子どもたちが安心して伸び伸びと体を動かしている遊び場であることが第一である。施設のイベント情報はチラシや町のホームページで周知している。

国見の子どもたちが安心して伸び伸びと体を動かしている遊び場であることが第一である。施設のイベント情報はチラシや町のホームページで周知している。



渡辺勝弘議員

感染防止対策を十分行いながら、プレミアム商品券

必要となる場合には、検討しなければならぬと考え



大勢の子どもでにぎわうももたん広場

# Q 町の歴史や文化を教育に取り組んでいるか

# A 子どもの発達に合わせ学習に取り入れている



高橋 武志 議員

**問** 児童・生徒に町の歴史・文化教育が必要であると考える。具体的にどう取り組まれているか。

児童・生徒に町の歴史・文化教育が必要であると考える。具体的にどう取り組まれているか。

**教育次長** 「ふるさと国見を学ぼう」を指標に掲げ、国見学に取り組んでいる。小学3年生は旧佐藤家住宅を見学し、6年生は町

**問** 町の歴史・文化を全国に発信するため、歴史的景観

都市協議会総会を誘致してはどうか。

**まちづくり交流課長** 総会の誘致については、町の歴史・文化の情報発信ということでは大いに効果はあるが、一過性のイベントに終わらせない工夫など総合的な判断が必要であるため、現段階では意見として伺う。

## 健康づくりを全町民参加型にすべきでは

**問** 健康づくりの推進は、全町民参加で盛り上げることが重要であると考え

**町長** 人生百年時代、運動やスポーツを習慣化すれば、将来の生活習慣病の予防や介護予防につながる。町の健康づくり事業は、全世代対象に展開している。

**問** 町では生活習慣病予防のため、色々な施策があり、運動にも取り組んでいる。継続するために、専門家による指導、特にフォロワーアップ研修は不可欠と考えるが、いかがか。

**保健福祉課長** 介護予防やメタボ対策など、各々の対象者の目的にあった年間計画の中で実施している。通いの場では現在、年2回代表者や協力者を交えて、情報交換やアイスブレイクなどの講習を実施している。

## 介護保険給付金の支給方法変更を

**問** 介護保険の対象となる住宅改修や福祉用具購入で、給付金の支給方法は、町では「償還払い」となっている。介護保険利用者の負担軽減等を考慮し、「受領委任払い」に変更すべきと考

**保健福祉課長** 住宅改修や福祉用具購入は介護保険制度では基本的には償還払いとなっている。償還払いであれば、用具や改修工事の準備をケアプラン作成前に先行することができ。今後は利用者の利便性を考え、受領委任払いも選択できるよう検討していく。



学習の場としても利用が期待される歴史公園(あつかし千年公園)



# Q 道の駅の誘客につながる施策は

## A 他の商業施設との差別化を図る

### 問

道の駅国見あつかしの郷に来

ていたいただいたお客様の心を和ませ、PRにもなるよう、国道4号線沿いの花壇を花畑にできないか伺う。

### 問

株式会社が直ちに実施する状況にない。

### 問

2030年までにガソリン車を生産しない方針を示している。集客のために電気自動車充電設備の増設や、水素ステーションを積極的に設置する考えがあるか。

### まちづくり交流課長

脱炭素社会の趣旨には賛同するが、急速充電設備や水素ステーション設置には数千万円から数億円の費用を要するため、直ちに増設・新設することは難しい。国土交通省と情報交換を行い、今後の普及状況などを見て判断したい。

まちづくり交流課長 イメージアップするうえで大きな効果があると考えるが、維持管理などのコストから、町及び国見まちづくり

イオンモール北福島(仮称)の出店計画が報道されており、どの企業も相乗効果を狙っている。道の駅国見もさらなる誘客のため、施策を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

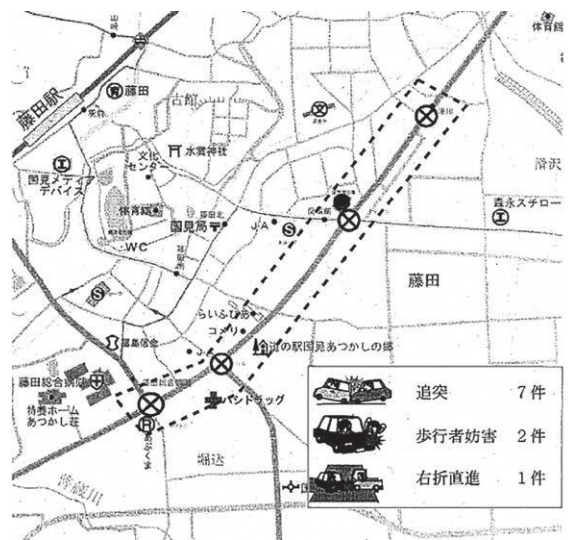
### 問

イオンモール北福島(仮称)の出店計画が報道されており、どの企業も相乗効果を狙っている。道の駅国見もさらなる誘客のため、施策を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

### 町長

まず、道の駅の経営方針等を図れば存在価値は強まる。国見まちづくり株式会社、出荷組合などと協議し、進化し続ける道の駅をつくっていくことが設置目的にかなうものと思っ

まず、道の駅の商業施設との差別化を図れば存在価値は強まる。国見まちづくり株式会社、出荷組合などと協議し、進化し続ける道の駅をつくっていくことが設置目的にかなうものと思っ



事故多発箇所を示すマップ

### 環境防災課長

道の駅の開業に伴い、日渡交差点や町道116号線との交差点などでは、歩行者の横断が増えていると認識している。

### 問

日渡交差点の信号機は車両感応式だが、歩車分離式の信号機に変更できないか。

### 環境防災課長

信号機の設置は県公安委員会が行っている。歩車分離式に変更すると円滑な車両の交通を妨げると懸念している。町は今後も警察と連携し、歩行者、車両にとってもより良い信号機の設置となるよう協議、要望していく。

### 問

国道4号線の道の駅周辺の交通事故

## 危険な交差点の信号機変更を

差点は、町の交通事故

国道4号線の道の駅周辺の交通事故



蒲倉 孝議員



# Q PCR検査の拡充を

## A 国に検査の拡大を要望している



浅野富男議員

**問** クラスタを防止するため、PCR検査は有効な手段と考えるがどのような考えか。

クラスターを防止するため、PCR検査は有効な手段と考えるがどのような考えか。PCR検査は有効な手段と考えるが、検査キットなどの物理的制約、感染が広がれば検体数が増加し、より大きな制約がかかると思われるので実現には疑問が残る。現時点では、施設の関係者に感染者が出た場合に、関係者全員への迅速なPCR検査を実施する方がより現実的であると考えている。

**課保健福祉長** 介護福祉施設等の入居者、従事者、関連業者などに対して、定期的にPCR検査を繰り返し実施することは有効な手段の一つと考える。ただしこれを実施

**課保健福祉長** PCR検査を自主的に受けることは可能なのか。

PCR検査を自主的に受けることは可能なのか。医師の判断、保健所の指示で行うこと以外

**問** 鼻の奥のぬぐい取りの他に、唾液による検査も承認しているがどのような認識か。

鼻の奥のぬぐい取りの他に、唾液による検査も承認しているがどのような認識か。昨年6月に厚労省より通知があり、唾液による検査も可能ということは承知しているが、検査キットが手に入らないという状況であるため、唾液による検査も数を制限される

**課保健福祉長** 施設内での感染、特に介護施設等では最悪の事態ともなりかねない。そうなる前の防止策を講じるべきではないか。

施設内での感染、特に介護施設等では最悪の事態ともなりかねない。そうなる前の防止策を講じるべきではないか。町が所管する地域密着型施設も含めて、入所、通所等の各施設に、県より具体策の通知がある。また県の保健師が向いて、感染予防、発症時についてのガイドラインを提示するなど予防に努めている。

**課保健福祉長** 行政検査は福島県及び管轄の保健所にその権限があり県の対応となる。全国町村会等

も国にPCR検査の拡大を要望していることから、拡充を願っている。



PCR検査機器

# 緊急質問

山崎健吉議員

2月13日深夜に発生した地震の被害状況と対応について、山崎健吉議員から緊急質問の申し出があり、これを議題とした採決があり全員賛成で一般質問の前に日程を追加しました。

## 問

当町の被害状況について伺う。

## 環境防災課長

人的被害は軽傷が12人で、消防組合からの救急搬送の要請はなかった。住家について

では、罹災証明書申請の受付では約500件で現在現地調査を行っている。

## 問

グループ補助金とどのような制度か。

## まちづくり交流課長

被災した中小企業者等が2事業以上からの復興事業計画を策定し、県が認定した場合に適用となる。申請窓口は県となる。

## 問

町民に対しての補助金はあるのか。

## 環境防災課長

災害救助法の指定となれば住宅の準半壊以上で応急修理となるが申請により進めたい。被災家屋の解体補助は

半壊以上の住家が対象である。

## 保健福祉課長

災害援護資金貸付金について、災害救助法の適用が要件であり、家財の損害150万円、住居の半壊で170万円、全壊では250万円、全体が滅失した場合に350万円の貸付制度がある。

## 問

被災者再建支援金は10世帯以上の住宅

被害がないと該当にならないとあるが。

## 環境防災課長

基準世帯は人口の規模によって決まるもので、国見町の場合は全壊が5世帯以上で対象になるが、現段階では対象になっていない。

## 問

他の市町村は独自の災害見舞金を出しているようだが、国見町はあるのか。

## 保健福祉課長

罹災救助給付金の制度がある。住家の全壊、半壊の罹災証明に基づき交付する。

※緊急質問とは  
自然災害などの突発的な出来事に対し、即刻質問し速やかな措置を質す必要があるような緊急性が認められる内容の場合などに、議会の同意を得て行う質問のこと。

## 議会の動き

3月4日	3月議会定例会（～19日） 議会運営委員会、全員協議会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
3月5日	広報常任委員会
3月8日	議案調査会（～16日※休日を除く）、町フォトコンテスト審査会
3月16日	全員協議会
3月19日	議会運営委員会、全員協議会
3月24日	伊達郡町村議会議長会議（福島市） 伊達地方消防組合議会全員協議会・議会定例会 伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・議会定例会
3月25日	例月出納検査
3月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査（福島市）
3月29日	議会運営委員会、全員協議会、令和3年第3回議会臨時会 公立藤田病院組合議会全員協議会・議会定例会
3月30日	広報常任委員会
3月31日	退職職員辞令交付式
4月1日	新規採用職員辞令交付式
4月5日	広報常任委員会
4月10日	阿津賀志学級開講式及び交通安全大会交付式
4月12日	広報常任委員会
4月14日	伊達郡町村議会議長会議（福島市）
4月21日	議員懇談会、議会改革推進会議、町遺族会定期総会
4月25日	町郷土史研究会通常総会
4月26日	例月出納検査、福島地方水道用水供給企業団例月出納検査（福島市）、伊達地方衛生処理組合議会臨時会

地震後に設置された罹災証明書等申請窓口



## 国見町の未来は

先日、泉田中集会所で、この集会所が出来た当時の名簿を見て、町内会の世帯数を数えたところ47軒でした。あれから約30年で8軒減り今は39軒になっています。私の親の時代は各家庭で子どもがたくさんおり極端に人が減る状態ではありませんでしたが、現状はますます人が減って空き家が増えていく事が考えられます。

これから10年、20年で泉田中町内会は30軒を下回るような限界集落になっていくことが危惧されます。人口が減り空き家が増え、耕作放棄地が増えていけば、当然イノシシを中心とした害獣が増え作物を作る事を諦める人が多くなるという悪循環となっていくでしょう。

今考えるべき最大の問題は人口が減っていく事です。町の広報を見ても「お悔やみ」の欄が多く、結婚、出産の欄が極端に少ないのは皆さんが見ても一目瞭然です。

国見町でも結婚世話やき人制度があり、町としてもフォローして結婚出産の欄を少しでも改善できるように期待しています。

またテレビニュース等で、町への移住や廃校となった学校を利用した養殖や水耕栽培の成功事例など色々紹介されています。町としてもぜひ廃校の有効利用を考えて取り組んでいただき、人口減に歯止めをかけてもらいたいと思っています。



目黒 浩一さん  
(泉田中町内会)

### 傍聴者からの 声



3月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんのご意見をいただきました。(抜粋)

- 定例会ではなく常任委員会で質問の方が良いのではと思われる質問が多いような気がする。  
(60代・男性)
- マイクに近づいてももう少し大きな声でお話いただけましたらと思います。  
(不明)
- 議員定数削減に関して検討されることはあるのでしょうか。  
(70代・男性)
- 女性の立場からの考えもほしいが、女性議員がいなくなったのは残念です。  
(男性)
- 新しい議員からの質問があったが、質問を分かりやすく、簡潔に質問するよう今後研修してほしい。  
(男性)

春陽の良い季節になりました。ここ国見の里にも、山々は緑濃く、木々は葉をつけ、花は咲き、鳥の声は一段と高らかになり、躍動の季節がやってきました。季節は何事もなく、何事もなかったかのようにやってきました。あのいまわしい東日本大震災後にも、コロナ禍でも確実に季節は巡ってきます。この季節になると、青春という詩の一節が浮かびます。「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。…」社会も人も一新の季節でもあります。老いも若きも、未来へチャレンジ精神を持ちスタートしましょう。

(穴戸 武志)

#### 発行責任者

議長

東海林一樹

広報常任委員会

委員長

浅野 富男

副委員長

佐藤 定男

委員

東海林一樹

同

松浦 常雄

同

村上 一

同

穴戸 武志

